

【2020 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
共生学		選択	1	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
齊藤 晋治	B308	s-saito	水曜日・木曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> 近年、多様性や多文化に対する理解が広まっている。一方で「津久井やまゆり園」事件等、差別や偏見の広まりも見せている。そこで本科目では、「あるもの」と「異なるもの」の関係性を対象に両者を隔てる社会的カテゴリに焦点をあて、それぞれのカテゴリに関する理解を深めるとともに、共生社会実現に向けた多文化、多様性の尊重の重要性について修得する。また、共生社会実現に向けたシステム論と、専門職種と地域住民の役割を知ることによって、日本の地域包括ケアシステムにおける医療・保健・福祉専門職が基礎的に理解しておくべき内容と社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）の重要性を理解することを目的としている。</p> <p><概要> 同時双方向型授業で展開する。授業では毎回、パワーポイントを基に各回のテーマについて説明・解説を行いつつ、問題提議します。そのテーマに沿って各自に課題を毎回課すこととします。同時双方向授業は、前回の振り返り、パワーポイントを用いた授業、課題という流れで行うこととします。</p>				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中に受け付ける。積極的に質問し疑問を解決する姿勢で授業に臨んで欲しい。				
教科書	テキストの指定はしない。各回、レジュメを配布する。				
参考書	授業内で紹介する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会の変化や課題について理解できるようになる。		HSU(1)(2)(6)		
②	共生社会についての理解を深める。		HSU(1)(4)(5)(6)		
③	多様性や多文化を尊重できるようになる。		HSU(1)(5)(6)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	オリエンテーション 地域包括ケアシステムと共生社会実現について学習する。	同時双方向型授業	共生社会に関する新聞・ネット記事を探し、地域包括ケアシステムについて復習する。	3	
2	共生にかかわる社会意識の現状と構造について学習する。	同時双方向型授業	共生社会に関する新聞・ネット記事を探し、地域包括ケアシステムについて復習する。	3	
3	世代間経済格差と世代間共生について学習する。	同時双方向型授業	貧困が教育に与える影響に関する新聞・ネット記事を読み、経済格差について理解する。	3	
4	ジェンダー社会（社会的・文化的性別）について学ぶ。	同時双方向型授業	ジェンダー社会に関する新聞・ネット記事を読み、経済格差について理解する。	3	
5	障害者権利条約と障害者差別解消法から意思決定支援について学ぶ。	同時双方向型授業	障害者差別に関する新聞・ネット記事を読み、経済格差について理解する。	3	
6	マイノリティとエンパワメントについて学ぶ。	同時双方向型授業	マイノリティに関する新聞・ネット記事を読み、経済格差について理解する。	5	
7	多文化社会とホスピタリティについて学ぶ。	同時双方向型授業	日本の産業構造に関する新聞・ネット記事を読み、経済格差について理解する。	5	
8	グローバル共生とソーシャルキャピタルについて学ぶ。まとめ	同時双方向型授業	課題レポートの作成	5	
試	/				

【2020 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	60	0	0	40	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	20	0	0	10	30
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポートについては、①文章の構成、②学んだ知識、③思考、推論されているか、④問題を発見する力、現実検討能力の4つの項目についてルーブリック評価を行う。				レポート返却時にコメントを通してフィードバックをおこなう。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		ディスカッションを行う際のグループ内での発言、グループへの取組み姿勢、意欲を3段階で評価。また毎回授業終了時に提出を求め、リアクションペーパーについても3段階で評価する。				ディスカッション時の巡回時にコメント。またリアクションペーパーについては毎回授業開始時にフィードバックをおこなう。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>新型コロナウイルス感染予防のため、Teamsを使った同時双方型授業を行う。 授業時は、通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨する。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の状況に伴う社会情勢によって再度シラバスが変更されることがありうる。</p>							